

水とみどりと歴史の 回廊マップ

小金北
地区

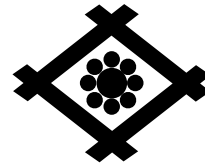
江戸に幕府が開かれる以前の東葛飾地域の歴史の舞台は、小金にあったといっても過言ではありません。特に、小金城があったこの地まつわるさまざまな史跡を訪ねる小さな旅に、私たちと一緒に出かけませんか？

私たち女子大生2人が歴史の街を駆け足でご案内します。

ちょっと手強い2時間半のコースもシェイプアップ気分がしっとりー！

水とみどりと歴史の散策路(約5.3km)

高城氏



(井桁に丸)

下総国に勢力を持った平氏の一族であった千葉常胤(つねたね)は、源頼朝に協力し、鎌倉幕府の成立に大きく貢献しました。これにより、千葉氏本家は、最も有力な御家人として代々下総国の守護に任命され、その一族も下総国を中心に各地に所領を獲得しました。その千葉氏の一族小金城主高城(たかぎ)氏の出自についてはいろいろな説がありますが、千葉氏の一族、あるいは、千葉氏から別れた原氏の一族といわれています。当初、栗ヶ沢に館を構え、根本内城、小金城と勢力が増すごとに城を拡大していきました。戦国時代には、現在の松戸、市川、船橋、鎌ヶ谷、柏、我孫子などを支配し、多くの支城を築き東葛飾地域で最大の武将となりました。そして、小田原の北条氏の勢力下にあったことから、第一次国府台合戦(天文7年・1538)・第二次国府台合戦(永禄7年・1564)では、北条方に加勢して安房の里見氏等と戦い、大勝利をおさめました。しかし、豊臣秀吉の小田原征伐で、北条氏が滅亡するとともに、高城氏も所領を召上げられ、小金城は廃城となりました。

●お問い合わせ●

松戸市役所 都市整備本部 都市緑花担当 都市計画課 景観担当室
TEL. 047-366-1111 (代表) / 047-366-7372 (直通)

【製作協力】

聖徳大学 児童学部 児童学科 児童文化コース
安西裕子さん、印田美咲さん、高橋真美さん、古田哲子さん

1 ゆうじさん けいりんじ
熊耳山 慶林寺

曹洞宗の寺院で、本尊は大福薬師瑠璃光如来(だいふくやくしるりこうにょらい)。戦国時代の永禄8年(1565)に高城胤吉が没すると、その妻[千葉昌胤(まさたね)の妹]は出家して月庵桂林尼(げつあんけいりんに)と号し、小金城東側の達磨堂の南に庵を建立しました。翌年、桂林尼は大往生を遂げ、その子、高城胤辰(たねとき)が母の冥福を祈って桂林寺を建立しました。なお、境内の墓石は、江戸時代に高城清胤(きよたね)が建立したものです。

天正19年(1591)には、徳川家康から朱印地十石を寄進され、北条方であった高城氏ゆかりの寺から脱皮して慶林寺と号するようになりました。

境内には、小金牧の野馬奉行の綿貫氏の墓所もあります。



桂林尼の墓所

2 達磨口

小金城には、大手口、達磨口、金杉口、大谷口の4箇所に虎口(こぐち)があり、達磨口の高山には、殿平質に通じる回転式の木橋が架けられていたと言われています。

達磨口の名の由来は、慶林寺の前身となる高城胤吉の妻の桂林尼(けいりんに)が建立した庵に、達磨大師の掛け軸がかかっていたことから、この名になったという説があります。



達磨口

※虎口：出入口

3 どうやさん ふもんじだいしょういん
遠矢山 普門寺 大勝院

真言宗豊山派の寺院で、本尊は十一面観世音。当初、根本内に文明12年(1480)の開基とも、永正3年(1506)の創建とも伝えられていますが、高城氏の小金城築城の際に城北の鬼門の場所に移され、高城氏の護持祈禱所(ごじきとうしよ)として発展しました。境内には、山桜や大イチョウがあります。

(注：境内に入るには事前許可が必要になります。)



4 大谷口歴史公園(小金城跡)

小金城は、享禄3年(1530)に城主の高城胤吉(たねよし)が築城を開始し、天文6年(1537)に完成しました。城域は、東西が約850m、南北約650mに及び、戦国時代末期まで、東葛飾地域で最大規模の城郭を誇る城として機能しました。

天正18年(1590)豊臣秀吉の小田原征伐の際に秀吉軍の浅野長政に城をかこまれましたが、小田原城にいた高城胤則(たねのり)の命令で戦わずして開城したと伝えられています。その後、秀吉の命で国替えとなった徳川家康は、江戸に近いところに城を置かせぬという方針で、文禄元年(1592)に廃城となりました。

現在は、その一部が歴史公園として残され、空堀、土塁、敵堀などの遺構が残されています。



大谷口歴史公園(小金城跡)

空堀

5 きんりゅうざんこうとくじ
金龍山 廣徳寺

曹洞宗の寺院で、本尊は釈迦牟尼仏(しゃかむにぶつ)。当初、高城胤忠(たねただ)によって、寛正3年(1462)栗ヶ沢に開基した高城氏の菩提所ですが、小金城築城の際に中金杉に移されました。境内の墓地には、高城氏一族の墓所(胤忠・胤広・胤吉・胤辰)と高城氏の重臣の墓所があります。境内には、トウヘンボクなど珍しい木もあります。



高城胤吉ほか一族の墓所

6 にっしょうざんいおうじ
日照山 医王寺

真言宗豊山派の寺院で、本尊は不動明王。境内には、松戸七福神の毘沙門天を祀っています。また、庚申塔や元禄5年(1692)及び明暦2年(1656)の板碑等が立っているほか、松戸市指定の保護樹木モミジ・カヤの古木があります。



松戸七福神「毘沙門天」

7 ほろぶざんけこんじ
法峯山 華厳寺

真言宗豊山派の寺院で、本尊は地藏菩薩。火災を防ぐ神通力をもつとされる火防地蔵(ひぶせじぞう)です。この地蔵は、鎌倉時代の寄木造りで、約700年前に幸田の人々が幸田川(現坂川)より引き上げたものであると言われています。毎年、1月2日には、火渡祭が行われ各地から参詣者が訪れます。また、境内には、松戸七福神の弁財天を祀っています。



松戸七福神「弁財天」

8 しょうたいざん ちょうようじ
聖泰山 長養寺

曹洞宗の寺院で、本尊は釈迦如来。下総国三十三ヶ所観音霊場の第十番札所になっています。境内には、「聖徳太子」「白楽天玉宮」の石碑や、観音経を意味する「普門品万巻(ふもんほんばんかん)」と刻んだ庚申塔などが立っています。



9 幸田貝塚

この貝塚は、6千年前の縄文時代前期に形成された貝塚です。発掘調査の結果、竪穴式住居跡が165軒発見され、多量の土器や石器、獣や魚の骨、炭化したクミなども出土されるなど、この貝塚が大集落に伴うものであることが明らかになりました。特に、多種多様な縄文様を施した「関山式」と称される土器群は縄文時代の土器研究上重要なもので、一部は、松戸市立博物館で見ることができます。



11 ちょうこくざんほんどじ
長谷山 本土寺

建治3年(1277)源氏の名門平賀家の屋敷跡に、日蓮六老僧の一人の日朗上人(にちろうしょうにん)を導師として招き、開山しました。日蓮宗の名高い寺で、池上の長栄山本門寺、鎌倉の長興山妙善寺とともに日朗一門の三長三本と呼ばれています。

近年では、別名「あじさい寺」と称され、初夏の菖蒲と紫陽花、秋の紅葉時は多くの観光客が訪れ大変賑わいます。また、本堂の周辺には、家康の側室の秋山夫人(於都摩・おつま)と、その父の秋山虎康一族の墓所があります。

【秋山夫人】

天正10年(1582)織田・徳川連合軍による長篠の戦いの後、甲斐武田氏滅亡の際に、武田氏家臣の秋山家の娘を養女として徳川家康の側室に仕えさせました。秋山夫人は、浜松城で、家康の五男(信吉)を生みます。家康は、信吉に名門武田氏の家名を継がせて、小金の地に、満七歳になったばかりの武田信吉を三万石として配置しました。



秋山夫人(於都摩)の墓所

【本土寺の重要文化財】

国の重要文化財や県・市の有形文化財などを数多く保有し、梵鐘(ぼんしょう)(国の重要文化財)は、鎌倉時代の建治4年(1278)の銘があり、大福寺(佐倉市)から移されたもので、県下では、二番目に古いものです。なかでも、本土寺過去帳(県の有形文化財)は、室町時代初頭から江戸時代初頭までに発生した事件が記されていて、松戸市域の中世史を知るための貴重な資料です。



12 本土寺旧参道(日之上松跡)

徳川家康の側室、秋山夫人(於都摩・おつま)はもとも体が弱く、天正19年(1591)24才で病死しました。そして、本土寺参道脇に小さな石碑の墓所がつくられ、「日之上松(にちじょうのまつ)」を植えて葬られました。

その後、寛永10年(1633)から松戸は水戸家の御鷹場預かり所となり、徳川光圀が「日之上松」を見つけて於都摩の葬られている場所であることを知ります。そして、松の根本を人足20人が掘り返して遺骨の捜索をしましたが発見できませんでした。そのため、光圀は墓土を桶に入れ、本土寺本堂東側に立派な墓石を建立して埋葬し、参道両側には、松や杉を寄進しました。

【景観重要道路】

この地域は、今でも往時の趣が残り、本土寺旧参道は、歴史的景観を有する代表的な資源となっていることから、景観重要道路に位置付けています。この風景をいつまでも大切に、さらに魅力溢れる地域にするため、周辺の建物もまち並みとの調和に配慮して下さい。



本土寺旧参道



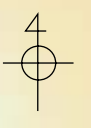
参道脇の秋山夫人(於都摩)石碑

松戸七福神 松戸七福神めぐりはいかがですか？

この地区には、毘沙門天(医王寺)・弁財天(華厳寺)があります。その他、恵比寿(金蔵院)馬橋(善照寺)松戸・大黒天(宝蔵院)上矢切(福祿寿(円能寺)千駄堀(寿老人(徳蔵院)八柱を合わせて七寺院になります。

凡例

- トイレ 
- 信号 



松戸七福神 弁財天



天財弁

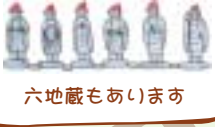
坂大師供養塔



晴れた日は富士山が見えます
スカイツリーも見えます



六地藏もあります




大きな山桜とイチヨウの木があります



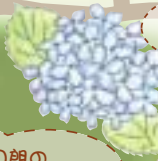
3月下旬に薄桃色の花を咲かせ、
初夏に実を付けます。



笛会という句会が催され
小林一茶も参加していた
そうです



あじさい寺として
も有名です



仁王門



本土寺 11

五重塔

白餅の三長三本の寺

佛時院



聖徳太子の供養塔と庚申塔



家康の劇室が都摩が
舞られた所です




水戸光圀が参道端に松と
杉を寄進しました



高城劇吉の書 桂林尼
が眠っています



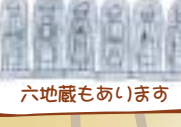
野馬奉行の錦書氏
も眠っています



竹林



六地藏もあります



小金城跡

高城劇吉が築城した小金城

